

体指よこすか

VOL. 7

平成21年12月1日
横須賀市体育指導委員協議会
発行責任者 武 雅兄



- ★得意なスポーツ：学生時代は陸上競技とアメリカンフットボールをやっていました。今は、・・・？
- ★健康法：早寝早起きと美味しい和食
- ★趣味：ジョギング・ゴルフ・星を観ること
- ★モットー：雨垂れ石をうがっ
- ★特技：すぐに寝られること

着任のあいさつ

横須賀市教育委員会事務局 生涯学習部スポーツ課長 伊藤 学

4月の人事異動でスポーツ課長に着任いたしました。体育指導委員協議会においては事務局長という立場でお世話になりますので、よろしくお願い申し上げます。体育指導委員の皆様には、スポーツの振興にご理解をいただき、日ごろより本市主催行事等へのお力添えはもとより、それぞれの地域において工夫を凝らして積極的に事業を展開され、多くの成果をあげていただいていることに改めて感謝を申し上げます。

私たちを取り巻く現代社会においては、高齢化社会に伴う余暇時間の増大や子どもたちの体力の低下の問題など健康の保持・増進やスポーツの振興に関する課題が山積しております。平成18年9月に改定された国のスポーツ振興基本計画においても、「スポーツの振興を通じた子どもの体力向上方策」と「地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」はとりわけ重要な位置付けをされております。特に最近の子どもたちの生活においては、時間・空間・仲間の三間(サンマ)が不足しがちな傾向にあります。大人の援助がないとこれを解決できない状況にあるのが現実であります。このような場面においても、体育指導委員の皆様のコーディネートによって、子どもたちが自分たちで活発に外遊びや運動をすることができるような道筋をつけていただくことができると大変ありがたいと考えております。これはほんの一例ではありますが、今後は体育指導委員協議会へのニーズが今までとは違った意味で、一層高まっていくことが予想されます。

横須賀市体育指導委員協議会は、武 雅兄新会長のもと新たなスタッフでスタートを切られましたが、中村栄治前会長をはじめこれまで協議会を支えてくださった多くの歴代関係者への感謝の気持ちを込めながら、これからの活動が皆様のチームワークでますます充実されることを祈念して着任のあいさつとさせていただきます。

全員の力で新しい協議会を！

新会長挨拶



今年4月から協議会会長に就任しました馬堀学区の武です。体育指導委員に委嘱された方から、「体育指導委員って何？」「協議会って何？」という声を、よく耳にします。そんな疑問を、分かりやすく説明していきたいと思います。

体育指導委員は「生涯スポーツの演出者・推進者」です。基本は選出された学区体育振興会での仕事になりますが、行事を実施するにしても、チームを運営するにしても、1人・1学区では自ずと限界があります。そこで、情報交換の場として、市全体や県への働きかけの場として、体育指導委員協議会が組織されました。市内他学区では、他の市町村では、どうやっているのだろう？そんな疑問にお答えし、皆の知恵と力で、運営していきたいと思います。協議会は、一部の役員やベテラン体育指導委員のものではありません。

皆さんの参加で、活気ある、楽しい協議会にしたいと思います。いろいろな行事や講習会・研修会に積極的に参加して学んでいただき、地域で活用願います。どんなことでも結構です、いろいろなご意見をお寄せください。

横須賀市体育指導委員協議会会長

武 雅兄（馬堀学区）



新任研修会開催される！

横須賀市体育指導委員協議会会長
武 雅兄（馬堀学区）

5月24日（日）にヴェルクよこすかに於いて、新任研修を行いました。以前から、体育指導委員に就任したものの、「何をやったらよいのかよく分からない」という方がたくさんおりました。そこで、30年前に行っておりました「新任研修」を復活させることとしました。当日の出席者は、新任体育指導委員17名・役員6名・事務局2名の合計25名でした。研修の内容は、体育指導委員の「役割」「選出方法」「法律と規約」「仕事内容」「協議会組織」についての説明と、後半は簡単な救命法の研修を行いました。

体育指導委員は横須賀市教育委員会スポーツ課の非常勤職員で、大きく分けて3つの仕事があります。地域だけでやっていけばよいということではありませんので、早くバランス良く複数の仕事をこなせるようになってください。

- ①学区体育振興会の一員として、地域の社会体育の振興に努める。
- ②教育委員会主催・主管の行事の役員として、大会の運営のお手伝いを行う。
- ③資質の向上を図るために、各種の研修会に出席する。

分からないことは先輩体育指導委員や協議会役員に聞いて理解し、一緒に楽しく協議会の仕事をしましょう。

平成20年度年度末
平成21年度新年度

横須賀市体育指導委員協議会総会

5月13日(水)18時30分よりヴェルクよこすか6階ホールに於いて横須賀市体育指導委員協議会総会が開催されました。

まず、20年度に於いて、永年本市のスポーツ振興に尽力された地域体育振興功労者(6名)と体育指導委員(18名)に永妻教育長より感謝状が贈呈されました。

次に平成20年度年度末総会の前に20年度末をもって退任する、中村会長より挨拶がありました。夏島学区の田村氏の議長で事業報告・決算報告・監査報告が各担当役員から報告され質疑応答後、満場一致で承認され終了しました。

その後、19時45分より21年度体育指導委員の委嘱式が行われ、指導委員を代表して新会長の武雅兄氏(馬堀学区)が永妻教育長から委嘱状を受け取りました。

今年は、役員改選の年にあたり、会長・副会長の提案については満場一致で、承認されました。

武山学区の高原氏の議長で、新会長の武会長より新任の挨拶後、21年度事業計画・収支予算が提案され質疑応答後、満場一致で可決されました。

編集長 石川 輝雄(森崎学区)

関東体育指導委員研究協議会

平成21年6月5日(金)～6日(土)にかけて、東京都文京区シビックセンターほかで開催された。関東甲信より1,719名の体育指導委員(以下体指と記載)や事務局で、横須賀市からは武雅兄会長を含め10名が参加した。目的は社会体育の諸問題について研究協議と体指の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域のスポーツ発展に寄与することである。

気づいたことや学んだことは、(1)基調講演で、子どもや高齢者が気持ちをはかっているような環境の整備を図る。“体指”は①心のケアを図り、②価値を認めてあげるためにコミュニケーション力の向上が必要である。(2)研究協議は第二分科会に参加し、「行政・地域の連携による学校施設使用の新たな方向」を東京都世田谷区や日野市の事例紹介と指導助言者の解説で進めた。学んだことは、まずはできるところから地域のいろいろな立場の人を巻き込み活動を進めていることが参考になった。(3)他の地域の人も懇親を深めながら、情報の収集を進めた。

最後に、永年の活躍に対して関東指導員協議会表彰を74名の方が受賞され、横須賀市からは公郷学区の和栗一郎氏が受けられたことを報告いたします。今回学んだこと、気づいたことを今後の市や地域の活動の中で活かしていきます。

編集次長林 但(富士見学区)

第32回高齢者健康のつどい

本市では、健康増進計画を基に、市民が生涯を通じていきいきとした生活をおくれる社会をめざしています。そのひとつとして、高齢者の仲間づくりと健康の維持向上を図るとともに、健康意識の高揚を目指し、軽運動による競技を行う「高齢者健康のつどい」を横須賀市体育指導委員協議会の主管と横須賀市老人クラブ連合会の協賛のもとに、6月14日(日)横須賀アリーナで実施しました。

まだまだ元気いっぱいな市内な60才以上が参加するこの行事には、市立横須賀総合高等学校生徒に演奏と競技参加をお願いし、交流を深める場としております。今年は、事前申込みのあった90才以上11名を含め752名が参加して、元気なプレーを披露してくれました。競技は2人で風船を籠に入れて運ぶ「お猿のかごや」リレーや鬼の人形の顔にボールをあてる「まとあてリレー」など手軽に楽しめる内容で、和気あいあいとした雰囲気の中、元気に体を動かしました。応援席にいた観客からは「みんな楽しそうで、来年は仲間を誘ってぜひ参加したい」という声が聞こえました。最後は全員が輪になり「よこすか開国音頭」など3曲の盆踊りで締めくくり、お互いにエールを送り交流を深めた一日でした。

編集担当 大貫 和雄(豊島学区)

新企画!他都市交流研修会始まる

平成21年度体育指導委員他都市交流研修会に参加して。

平成21年8月29日(土)に大和市上草柳にある、大和スポーツセンターにて大和市から「キンボール」・横須賀市からは「インディアカ」の実技研修会と、コミュニティーセンター草柳会館において懇親会を、大和市43名、横須賀市15名の体育指導委員が参加して行われました。横須賀市は人口42万人、大和市は23万人都市であり、大和市では11の地区に分け主に体育協会から代表として推薦される57名の体育指導委員と各地区13~15名の「社会体育振興委員」から構成されている。横須賀市では小学校区毎に町内会から代表が選ばれ、体育振興会が推薦し、313名の体育指導委員で横須賀市体育指導委員協議会が構成されている。大和市の場合、体育指導委員には報酬(3万円)が支給され、減額されるが「社会体育振興委員」にも報酬が支給されている。驚いたのは、57名全員が総務部(11名)事業部(17名)研修部(13名)広報部(11名)に属し、定例会は、全員出席が前提になっていることである。(事業ごとの交通費や弁当代は自費参加)

横須賀市では、21年度の試みとして、常任委員が各部会に属しそれぞれの部会を機能させることで、教育委員会主催・体育指導委員協議会が主管する行事の企画立案及び運営を自らの手によって行おうとしています。他都市との交流を深めることにより、協議会活動に幅を持たせた考え方により、組織体制の変革年になるよう活動していきますので協議会の皆様の多くの協力・参加をお願いします。

企画研修部会担当副会長 鈴木 貞男(大楠学区)



加藤副会長のインディアカの説明



鈴木副会長の乾杯の発声で懇親会開会



将来のイチローを目指して!

今年の、児童ソフトは、2日間に渡っての大会でした。お手伝いいただいた指導委員のみなさんご苦労様でした。

ナイス フレー

第 50 回学区対抗
児童ソフトボール大会
平成21年8月2・23日



第49回学区対抗成人バレーボール大会

=平成21年9月8日=



よこすかアリーナでの開会式の模様!

=健闘を祈ります=



朝早くからの受け付けご苦労様



これは!INです...



こちら記録担当がんばってます



撮影: 編集担当 押井 秀雄(鷹取学区) 角田 高行(浦賀学区)

賞状と盾の授与です

第49回

=平成21年9月8日=

学区対抗成人ソフトボール大会



追浜第二球場での開会式の模様です。

昨年とは、うって変わったの晴天

ナイスプレーの続出!



両者! よろしくおねがいしまーす



不入斗球場での選手宣誓



撮影:編集長 石川 輝雄(森崎学区)

会長他学区訪問記！

横須賀市体育指導委員協議会会長 武 雅兄（馬堀学区）

体育指導委員の大切な仕事のひとつに、「地域の社会体育の振興に努める」という項目があります。地域のスポーツ団体の指導や育成、学校開放事業の推進と並んで、生涯スポーツに関するいろいろな大会の企画・運営をすることです。新たに行事を企画・立案する時に他学区の実情を参考にしたいのですが、自分の学区の仕事や協議会の仕事で忙しく、意外に他の学区の行事を見ていないことに気付きました。そこで、今年は、役員が所属する学区の事業計画から、いくつかの学区の行事を見せていただきました。

学区の成り立ち方（全てが旧町内会の地域、全く新しい団地、旧町内と新しい団地が合った地域）や地域性（伝統・気質）にもよりますが、世代の交代と共にその姿は少しずつ変えてきているように思えました。今回見た限りでは、町内会毎の結束を誇示する「町内対抗型の健民運動会」から、集まった方々全員が楽しめるような「お楽しみ運動会」「スポーツ大会」に移行しているように思われます。どちらがいい悪いということではありませんが、後者は同じ世代の住民が多い新興住宅で顕著だと思えます。

- 地域のスポーツ団体を巻き込んだ「鷹取学区ファミリー運動会」
- 競技毎の参加人数の多い「粟田学区健民運動会」
- 町内の特色豊かな「大楠学区健民運動会」
- 中学生が活躍し、51回の伝統を誇る「富士見・武山学区健民運動会」
- 臨場感溢れる「公郷学区健民運動会」
- 参加した人達をとことん楽しませようとする「森崎学区ファミリー運動会」
- 誰でも手軽に体を動かせる「神明学区スポーツの集い」

スポーツの秋を、いろいろなメニューで楽しませていただきました。皆さんも時間を作って、是非他学区の様子を覗き見てください。参考になること必至です。



よこすかスポーツフェスタ2009

体育の日、スポーツで汗を流しました
＝市内各所でスポーツイベントを開催＝

10月12日(月・体育の日)に子どもから大人まで楽しめる「よこすかスポーツフェスタ 2009～みんなでスポーツ!!～」を開催しました。

横須賀アリーナをメイン会場に、不入斗公園陸上競技場・軟式野球場、各体育会館・温水プール、くりはま花の国アーチェリー場などでいろいろなスポーツを体験しました。

メインアリーナではキッズ広場やスポーツ体験、サブアリーナでは新体カテストによる体力年齢の測定、不入斗公園内では各会場を巡るスタンプラリーを実施しました。市内3ヶ所の温水プール、市内2ヶ所のトレーニングルームは1日無料開放となり多くの市民の方が気持ちよい汗をかきました。

私が担当した西体育会館では、ソフトバレーボール大会とニュースポーツであるキンボールを多くの方に体験していただきました。

広報編集次長 林 但(富士見学区)



「みんなの体操講習会」に参加して

平成21年11月7日(土)に体育指導委員を対象に「みんなの体操講習会」が開催されました。

会場は、神奈川県立保健福祉大学体育館、みんなの体操を指導してくださったのは、全国ラジオ体操連盟副理事長の青山敏彦先生、NHKテレビラジオ体操元アシスタントの藤元直美先生のお二方でした。

みんなの体操を行う前に、青山先生から軽く体を動かす運動を行い、その後にみんなの体操の指導に移りました。

みんなの体操は、年齢とともに弱ってくる体力を、体操をすることで体力の低下を少しでも維持することを目的として作られた体操で8個の運動からなっています。

ゆっくりしたテンポで立位でも座位でもおこなえるように構成されています。

体をバランス良く動かすことで血液の循環を良くし、脚や腰、背中の筋肉を中心に強化できます。

また、伸展運動(ストレッチング)による柔軟性を保ち、正しい姿勢づくりに役立ちます。

この体操は、年齢の高い方々のために作った体操でありながら、動作(体を動かす)を正確に行う青山先生の指導と、藤元先生の模範演技を見ながら1つ1つ体を動かすと普段使っていない筋肉を使うため、体のあちこちが非常に痛くなってしまいました。

青山先生が1日1回の体操を毎日行うことが大切であると話してくれました。

講習会を受けて、私なりに工夫をしながら体操を行う必要があると感じました。

企画研修部会部長 和栗 一郎(公郷学区)

【編集後記】 4面は、新会長初仕事の他都市との交流研修会です。今回は、大和市にお邪魔しての交流会でした。普段は気にしていない体育指導委員の定員数など、実際に交流を行わなければ知りえないことが多くあります。次回の開催の際には、是非多数の参加をお願いします。

10面にある「よこすかスポーツフェスタ2009」は、市内各地で開催されました。天候にも恵まれ2年ぶりに不入斗公園陸上競技場で競技ができました。いつも派遣された体指から聞こえる声は、「人数が足りないので開始から終了までトイレに行く暇もない！」市の体育指導委員の在籍数は316名です。最低でも1学区1名の体指の派遣をお願いしたいものです。

広報編集長 石川 輝雄(森崎学区)